

【菜の花に願いをこめて】

この秋から冬にかけて枯葉が落ちると、以前よりは少しずつ下がってきた放射線量が、また上昇する場所も発生します。

菜の花は、少しずつ成長しながら冬を越して、春に花を咲かせます。

春の訪れを告げようとしていたあの3月11日から、また長い冬に逆戻りしたかのような私たちにとって、来年の春は咲いた菜の花を見て復興への希望を感じられたらなと思います。

【菜の花の育て方】

- 1、 この菜の花は、食用ではありません。搾油用です。
- 2、 9月中旬～10月中旬頃に種まきをして下さい。
* 種蒔きの時期が早すぎると茎が弱くなり、遅すぎると越冬前の成長が足りなくなります。どちらも霜や雪の被害を受けやすくなるので気を付けて下さい。
- 3、 菜の花の種は小粒です。丁寧に耕して下さい。
- 4、 土壌に肥料が足りなさそうな時は「花と野菜の培養土」を混ぜます。
* 「花と野菜の培養土」は、ホームセンター等で販売しています。
- 5、 10cm～20cmの間隔をあけて種をまき、3cmほど浅く土をかけます。
広範囲な時は、ばら撒きでも大丈夫です。
* 寒い時期に育つので、病気や害虫の心配は少ないです。
- 6、 放射性セシウムを取り込ませるには、チッソ系の肥料をあげると効果があります。
(但し、やりすぎると発育が遅くなります)
* 放射性セシウムとカリウムとの性質が似ているため、カリウム系は成長を促しますが、
逆に効果を半減させますのであまりやらない方がいいです。

**種まきの様子や成長していく過程、花が咲いた姿など、写真・コメントを募集中です。
携帯電話やパソコンのメールなどで送って下さい。**

ホームページ【福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」】又は、ブログ【人生は365歩のマーチ】にてご紹介致します。

【土壌や作物の放射能濃度を調べたい方はご連絡下さい】

放射性ヨウ素、放射性セシウムの含有量を検査出来ます。(検査機関の正式な報告書が出ます)
只今、大変込み合っています。事前にご連絡下さい。また、検査結果がわかるまで、多少お時間がかかる事をご了承ください。但し1検体で2万円の経費が掛かります。

***詳しくはお問合わせください**

福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」問合せ先

【事務局】〒960-8202 福島県福島市山口字寺屋敷4 常円寺内

TEL: 024(533)2829 FAX: 024(536)1301

* ホームページ【福島復興プロジェクト「花に願いを」www://hananinegaiwo.jp】

または、ブログ【「人生は365歩のマーチ」で検索】